

販売を手掛けるマルホン（浜松）のフランフロント大阪北館（大阪）と東京、福岡に次ぐ初進出となる。初年度の売り上げは約1000万円を目標とする。同ショールームを経由分）など。申請中で、5月中には認証取得

色合いを社で開発、販売している。室内の浸透性塗料「アーバリーシリーズ」の塗装マシンブルなども展示している。スタッフは、常駐3人に加え、出張で大阪を訪れた同社営業マンも来場者に対応する。一方、来場者はスタッフの説明を聞きながらサンプルボードを手で触れたり、足で踏んだりしながら、ムク材の質感や香り、温かみを実感できるようにしている。また、室内奥の専用冷蔵庫にはムクフローリングと合板フローリングとを比較

の建物は、梁の一部も見せる。通りに面して1、2階に大きな開口を取り、柱は入るものを取り、壁は少し開放感のある設計で、梁はあえて段をずらして設計するなど、プレカット会社や構造事務所を悩ませた。構造計算はストロークで「経済性も考慮し、梁

# ×食×住「コンセプトに

## 体育園やカフェの運営にも取組む

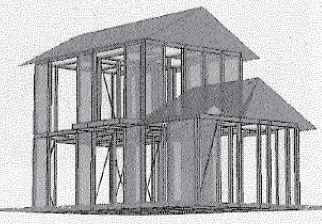
ロアなどのサンプルが冷やされており、来場者は素材による熱伝導率の差を手で触れて体感することもできる。同ショールームの大山優営業担当リーダーは「2016年ごろから計画を始めた。新設住宅着工数の多い都市に絞って、20年1月に福岡、今回大阪にショールームを設けた。商品を見るだけのインテリアネットとは違って、ショールームでは触って、踏んでという体感してもらえらる。ぜひ来場してもらってムク材の良さを知ってほしい。今後はこの空間を使って、小規模のセミナーなども開催したい」と話している。開館時間は午前10時から午後6時30分、休館日は水曜日（祝日除く）。商品は見るだけの

### ウォールスタットと連携 営業支援「アルタレポリション」 CST

コンピュータシステム研究所（CST、仙台市、長尾良幸社長）は、住宅営業支援システム「ALTAシリーズ」の最新版「ALTA Revoluti

く）のほか夏季・年末年始休館日。予約なしでの来場も可能だが、商品説明などの対応は予約者を優先する。なお、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令の影響で、グランフロント大阪北館が閉鎖（エントランスなど除く）となったため、4月25日からきょうまで臨時休業となった。

りプレゼンや見積もり、構造計算から耐震シミュレーションまで一貫通の機能を利用できるように、営業ツールとしての利便性が大きく向上した。地震が頻発するなかで、4号特例の建築物でも構造計算が求められるようになってきた。これにより、構造計算に耐震性



住宅の耐震性能をwallstatで分かりやすく示すことができる

の高さを可視化するウォールスタット機能を併用することで顧客に安全な住宅造りを分かりやすく提案することが

ができる。ALTAは提案プランやプレゼン、積算、見積もり、設計、伏図の作成などができる住宅営業支援ツールだが、2020年7月に発売したアルタレポリションではプレゼン資料、見積もりの作成段階で構造計算を行え

るようになった。プレカット工場が注文を受けると、構造計算は自社の設計部門で行うか、または設計事務所を外注する。だがアルタレポリションを利用することで自社の作業時間の削減や内製化によるコスト削減が期待できる。構造計算ソフトは、CSTが16年に木造舎（横浜市、金廣和社長）から事業譲渡を受けた木造建築物の構造計算システム「KIZUKURI」を採用している。KIZUKURIは構造計算では業界トップの実績を持つソフトとして知られ、一部の確認検査機関にも採用実績がある。今回は、この構造計算システムと耐震シミュレーションソフトを連携させる機能を追加したことで、構造の安心感をより効果的に示すことができるようになった。

ウォールスタットの連携機能では、耐震性能見える化協会からウォールスタット認証も取得。CADソフトで取得。ウォールスタット認証取得は同社が2社目となる。今後は、構造計算とウォールスタットとの連携で、住宅の安全性とコストの両立の方策の提案も効果的に示すようになる。

例えば、耐震等級1の住宅仕様でも、耐震ダンパーを入れれば等級3になるなどのシミュレーションを分かりやすく示す。逆に、耐震等級を維持しながら構造材の材積を減らす方法も提示可能だ。折しも、第3次ウツドショックともいわれる木材価格の高騰局面が到来している。住宅着工が減少するなかで木材の仕入れ価格が高騰しており、プレカット、流通企業の競争も激しくなっている。そんななかで意匠と構造、コストの最適バランスを自動提示してくれるITツールは今後、構造材を取り扱う企業にとって必須商材となっていくことが

予想される。ALTAは年に一回バージョンアップをしているが、CSTは「当社の持つVR技術をウォールスタットにも生かしていく。工務店がタブレットで耐震シミュレーションを顧客に見せて、住宅の耐震性能を分かりやすく示すだけでなく、VRと融合することで耐震性能を体感できる機能も開発していきたい」としている。

ALTAシリーズの累計販売戸数は1万本。大手の流通、プレカットは300社が採用している。木材、建材の両業界ではトップシェアを持つ優位性を生かし、業界のニーズに対応する新機能の開発を進める。

アルタレポリションはCSTの業務提携先である伊藤忠建材が中心になって販売していく。同社は「こうした汎用ITツールの活用を積極的に進め、販売店や工務店、プレカットの受注活動を支援する」としている。



1階カフェスペースから、2階吹き抜け部分を臨む

いたことで、プレカットの構造やコネクタに「くわい」を生かしたメニューを提供していく。本誌が、構造内蔵

愛知県東三河 エリアに初出店 安江工務店

に一般住宅のリフォームや新築、不動産仲介などを展開している。今回の豊橋店の開設に